

# エムポックス検査を 実施します

匿名  
無料

エムポックスは、主にアフリカで流行している感染症ですが、2022年以降、世界各地で患者の発生が報告されており、現時点での報告数は17万人を超えています。また、日本では2022年に初の感染者が確認されて以降、現在までに約270名の感染が確認されています。

世界的な流行をうけ、県ではエムポックスに関する検査を実施することとしましたので、感染を心配されている方は、受検をご検討ください。

## 対象者

エムポックス感染が心配で検査を希望される方(18歳以上)

※検査は匿名で実施します。

※既に発疹などのエムポックスで見られる症状がある方は医療機関に相談のうえ、受診してください。

## 受検方法

検査希望日の前週金曜日までに、事前に予約いただき、指定された時間に採血を行います(福祉保健所で採血)

## 結果

後日、来所いただき結果をお知らせします

※陽性の場合は、医療機関への受診等をお願いします。

福祉保健所名	所在地・連絡先	検査時間	
		昼間	夜間
安芸福祉保健所	安芸市矢ノ丸1-4-36 0887-34-3177	第2、4木曜日 13:00~15:00	第4木曜日 17:30~18:30
中央東福祉保健所	香美市土佐山田町山田1128-1 0887-53-0297	第1、3木曜日 13:30~15:00	第1木曜日 17:30~18:30
中央西福祉保健所	高岡郡佐川町甲1243-4 0889-22-1249	第1、3火曜日 13:00~15:00	第3火曜日 17:30~18:30
須崎福祉保健所	須崎市東古市町6-26 0889-42-1875	第1、3月曜日 13:30~15:00	第3月曜日 17:30~18:30
幡多福祉保健所	四万十市中村山手通19 0880-34-9056	第1、3火曜日 13:30~15:00	第1火曜日 17:15~18:15

※高知市保健所では実施していません

問い合わせ先 高知県健康政策部健康対策課

Tel:088-823-9677

E-mail:130401@ken.pref.kochi.lg.jp



# エムポックスとは？

2022年5月以降、これまで主にアフリカ大陸で発生が報告されていた「エムポックス」の患者について、国内でも患者が確認されており、2023年に入り患者の発生が増加しています。

## エムポックスはどのような病気ですか？

- エムポックスはウイルスによって感染する病気です
- 一般的には発熱や発疹（ほっしん）、リンパ節のはれ等の症状がみられますが、多くの場合、2 - 4週間で自然になおります

## エムポックスはどのように感染するのですか？

- 感染した人や動物の皮ふの病変・体液・血液との接触（性的接触を含む）が中心です（患者と長時間、近距離で対面することでの飛まつ感染もあります）。新型コロナウイルス感染症と異なり、人から人への感染は容易には起こりません
- WHOによると、現在報告されている患者の多くは男性であり、そのほとんどが男性同士の性的接触がある男性ですが、女性や小児の感染も報告されています  
※特定の集団や感染者、感染の疑いのある者等に対する差別や偏見は、人権の侵害につながります

## どのような症状に注意すればよいですか？

- 体の部位に関係無く、発疹や水ぶくれなどがなくどうか注意してください（特に顔、口、手足、肛門、性器、臀部（尻）での発生に注意してください）
- その他、発熱、頭痛などの症状が見られる場合があります
- 水ぼうそうなどの他の発疹を生じる病気との区別が難しいことがあります

## 予防法や治療法はありますか？

- 多くの場合、2 - 4週間で自然になおります。
- 天然痘ワクチンが、エムポックスウイルスにさらされた後の発症の予防や重症化予防に有効とされています。我が国では、エムポックスウイルスにさらされた可能性のある方に対してワクチンを投与するための臨床研究体制を整えています。また、エムポックスの患者には臨床研究で治療薬を投与できる体制も整えています

## エムポックスを疑う症状があった場合はどうすればよいですか？

- エムポックスを疑う症状が見られた場合、最寄りの医療機関に相談してください
- 医療機関を受診する際には、マスクの着用や発疹部位をガーゼなどでおおう等の対策をした上で受診してください